

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東海)	良くなる やや良くなる	-	-
		商店街（代表者）	・客の様子からも客単価の動きからも、全体的に少しずつ上昇感がみられる。
		商店街（代表者）	・先行きは東京オリンピックの開催に向けて、更に良くなると見込んでいる。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・伊勢志摩サミットに向けて、当地のメディアへの露出も増えるため、景気は上向いていく。
		一般小売店〔書店〕（営業担当）	・年度末に向けてこの先は受注増加が見込まれる。
		百貨店（経理担当）	・法人税減税等への期待感から、少なくとも購買意欲は上向くと考える。
		百貨店（経営企画担当）	・衣料品は気温に左右されるが、高額品需要が引き続き数字をけん引すると考えている。
		スーパー（経営者）	・先行きは例年並みの売上になると見込んでいる。
		スーパー（店員）	・暖冬の影響で葉物野菜の価格が安定し、悪い要因は目につかない。
		スーパー（販売担当）	・年末年始が終わり普段の生活に戻れば、日常的な食材が主体の当店の客足が戻る。
		コンビニ（エリア担当）	・カード戦略等キャンペーンの効果により、先行きも来客数の伸びが見込まれる。
		コンビニ（エリア担当）	・徐々にではあるが、来客数は回復傾向にある。特に主力である米飯類商品の回復が大きい。
		衣料品専門店〔紳士服洋品〕（売場担当）	・春の卒業・入学、入社や異動に伴って、ギフト需要が増えてくる。
		家電量販店（店員）	・1品単価は上昇傾向にあり、このまま伸びていくと見込んでいる。
		乗用車販売店（営業担当）	・年末になって消費が上向いていると感じる。ガソリン価格の約6年振りの安値で、自動車の販売状況も先行きは良くなると期待する。
		乗用車販売店（経営者）	・決算需要も見込まれ、新年になれば販売台数の落ち込みも多少は改善すると思われる。
		乗用車販売店（従業員）	・新型ハイブリッド車の効果もあり、販売台数は緩やかだが増えてきており、決算期に向けて増加が見込める。
		旅行代理店（従業員）	・インバウンドの急増に伴い、国内観光地の人出は著しく増えている。インバウンドがきっかけで、メディアが名所や人気スポット等を取り上げる機会が多く、日本人がその良さを再認識し、国内旅行に出掛ける人が増えている面もある。海外から国内へシフトする人も増加しており、春先もこの傾向が続くと見込まれる。日常生活では節約しつつも、旅行への意欲は堅調である。
		通信会社（営業担当）	・共同商品による効果が、今後も続くと思われる。
		通信会社（営業担当）	・年明けからは、ボーナス増加の良い影響が出てくると期待する。
住宅販売会社（従業員）	・消費税増税が近づくが、各社とも、良い商品を作るためにも増税前の駆け込みとなる来年9月末ぎりぎりではなく、年始からの受注に力を入れる。期待感を持ちつつ、年明けからはやや良くなると見込んでいる。		
その他住宅〔室内装飾業〕（経営者）	・法人の設備投資系の受注を中心に、年明け以降の案件が増えている。		
変わらない	変わらない	商店街（代表者）	・客単価が改善しないので、当面は現状水準のままで推移すると見込んでいる。
		商店街（代表者）	・新商品の投入や商品入替えの時期となるが、前々年あたりから需要の掘り起こしには全くつながっていないため、今回もそれほど期待できない。
		一般小売店〔自然食品〕（経営者）	・先行きが見通せない部分が多く、判断しづらい。
		一般小売店〔書店〕（経営者）	・少しずつ良くなるが、今月と比べると大きくは変わらないと見込まれる。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・先行き不安で財布のひもが依然として固い人がいる反面、暮らし向きに余裕のある人もいて、格差を感じる人が多い。この状況はしばらく続くと思われる。
		一般小売店〔薬局〕（経営者）	・地場産業が不振で、それに変わる新しい産業もなく、景気は底ばいの動きが続く。企業誘致で市内には書籍通販会社の物流拠点や自動車メーカーの施設等が立地しているが、地元には税金が入らないそうで、消費も地域景気も良くなっていない。3か月先に良くなるとは、とても思えない。
		一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・大多数の客の財布のひもが固く、一部の大手企業や富裕層の購買によって売上が下支えされる状況が続く。

一般小売店〔果物〕 (店員)	・3か月ほどでは販売量の動きは変わらないと思われる。
一般小売店〔和菓子〕 (企画担当)	・様々な要因が絡み、先の見通しが見つからない。
百貨店(売場主任)	・衣料品並びに宝飾等の高額商品には、上向きになる要素は見当たらない。お歳暮等の動きは前年並みであり、必要な物には最低限の支出をするという傾向は変わらない。
百貨店(売場主任)	・12月はボーナス支給で財布のひもも緩み、普段はあまり売れない高額商品の売上も増加したが、この先は財布のひもも固くなる時期となる。高額商品の動きは落ち着き、クリアランスを待って購入する客が増える。前年同月でみる売上高は、引き続き減少が続く。
百貨店(経理担当)	・依然として中間層の財布のひもは固い。
百貨店(経理担当)	・気温が下がれば、冬物衣料品を中心にクリアランスセールも盛り上がるが、あまり期待はできない。
百貨店(販売促進担当)	・インバウンドによる売上で国内消費の鈍化をカバーする状況は変わらない。
百貨店(販売担当)	・年末の購買意欲の高さが2～3か月先まで続くかは疑問である。全館でのイベント等、お買い得な時は客に動きが出る状況で、大きな変化はないと思われる。
百貨店(販売担当)	・来年の参議院選挙に向けて、場当たりの政策が一層目立つようになる。一時的な対応を消費者は見抜いており、先行きの不安が解消されないまま、時間が経過していくと思われる。
百貨店(販売担当)	・株高で推移するなか、富裕層の消費やインバウンド消費は今後も続く予想されるが、一般消費者の消費を刺激する要因に乏しい。
百貨店(販売担当)	・年明けは、前年並みの売上となりそうだが、前年実績を上回ることはなく、その後はまたしばらく停滞が見込まれる。歳時には盛り上がるが、日常の消費は抑えていると感じる。
スーパー(経営者)	・海外市場の影響で輸出型産業の操業が低下し、我が国の経済にも影響するため、3月ごろは、まだ景気が回復しない。中国経済の減速が続き、東南アジアの新興国にも影響して輸出が徐々に減る。
スーパー(店長)	・現状は良いが、同業他社との話では、今でもそんなに良くないという話が多く、これ以上良くなることは難しいと感じる。
スーパー(店長)	・商品の値上がりが見込まれ、先行きの不安から、抑える部分は抑える一方で、自分のための買物で必要な物や欲しい物は購入するという傾向が続く。
スーパー(店員)	・先行きも単価の低い商品だけが売れる状況が続き、利益の確保が難しいものと見込まれる。
スーパー(販売促進担当)	・景気が回復する兆しがない。
スーパー(支店長)	・目新しい経済対策もないため、このまま現状維持が続く。
スーパー(商品開発担当)	・来客数が前年同期を下回り、それに伴い売上も減少し続ける厳しい状況から抜け出せない。来客数を回復させる方策がない限り、足元の状況からさほど変わらない。
コンビニ(企画担当)	・東京オリンピックの開催までは、引き続き若干のプラスで推移する。
コンビニ(エリア担当)	・今月並みの状況が、当面は続くと思われる。
コンビニ(商品開発担当)	・足元では非常に暖かい日が続く、来客数の増加が売上を押し上げているが、2～3か月先には、気候も例年並となる。
衣料品専門店(販売企画担当)	・客の様子には、それほど変化がみられない。
乗用車販売店(経営者)	・良くなる要素がなかなか見当たらない。下請・孫請けの会社にとっては、環境が一層厳しくなるとも考えられる。
乗用車販売店(従業員)	・自動車に関する来年度の税制が発表され、年度末に向けては、購入を真剣に考える客の増加が見込まれる。ただし、興味を集めそうな車種は、納期が未確定で来年度になる可能性もある等、マイナス要素もあるため、客への効果的な働きかけを考えたい。
乗用車販売店(従業員)	・最近では好調が続いており、先行きも現状維持を期待する。
乗用車販売店(従業員)	・1～3月には、特段の変化材料がないと思われる。
乗用車販売店(従業員)	・例年は、決算期が近づけば市場に動きが出るが、現時点で動きがあまりないので、先行き是不透明である。工場への在庫数は堅調で、一時期は格安店に流れていた客が、戻ってきていると感じる。

	乗用車販売店（経理担当）	・景況感は、現状からさほど変わらない。周囲からも景気の良い話は聞かない。
	乗用車販売店（総務担当）	・個人の消費が良くなる要素が見当たらない。
	住関連専門店（営業担当）	・新築・分譲マンション共に、受注が増えていない。一方、リフォーム工事、大規模改修や店舗改修工事は、増えている。
	その他専門店〔雑貨〕（店員）	・異動が増える時期となり、年末からの購買意欲の高まりが続く。
	その他専門店〔雑貨〕（店員）	・良くなる要素は見当たらないが、悪くなる要素も特に思い当たらない。先行きは、変わらないというより、見通しがつかない状況である。
	高級レストラン（役員）	・新年会等、年明けの予約状況は前年同期並みで、景気が回復しているようには感じられない。
	観光型ホテル（販売担当）	・前年は、2～3月にスポットで大型宴会を受注していたが、今年はそういった特需を確保していないので、先行きが今よりも良くなるとはいえない。
	都市型ホテル（従業員）	・予約数から、先行きは変わらないと見込む。
	都市型ホテル（支配人）	・外国人旅行者の動き次第である。
	都市型ホテル（営業担当）	・予約数からは、少なくとも3月までは良い状況で推移している。
	都市型ホテル（経理担当）	・宿泊や宴会の受注状況は、前年同期並みとなっている。
	旅行代理店（経営者）	・客のなかで景気の良い職種と悪い職種があり、全体としては、景気の良い職種の割合が少ないように感じる。
	旅行代理店（経営者）	・12月に入って売上が急激に減少している。原因はわからないが、これから先もこの傾向が続くように感じられる。
	旅行代理店（経営者）	・業種や体力により、売上が更に増加あるいは現状を維持する企業と、ますます悪化する企業に分かれる。廃業やコンビニ業界でみられるような統合が様々な業種で進む。購買者の数が増加しない限り、全体でみれば、横ばいで変わらない。
	旅行代理店（経営者）	・旅行は、消費税増税前の駆け込みや生活費を切り詰めてまで行くものではないので、先行きも大きくは変わらない。海外旅行先は、テロの不安や現地情勢により、安全な国を選ぶ傾向があり、来年は更に国内へのシフトが強まるように感じる。
	タクシー運転手	・暖冬で、衣料品や暖房機器の売行きが悪いと聞いている。世の中で金が回らないため、2～3か月先も良くなるとは思えない。
	タクシー運転手	・繁華街の静かな状態が長い間続いているので、この先もすぐに景気が良くなるようには思えない。
	通信会社（企画担当）	・当地の製造業は業績もそこそことなっており、個人消費も堅調であると感じる。当面は、現状程度のレベルで推移するものと思われる。
	通信会社（サービス担当）	・最近が高齢者にも携帯電話の利用が増えており、家庭では固定電話の解約や安価なサービスへの乗換え等、節約傾向がこれからも変わらない。
	ゴルフ場（企画担当）	・この先は、大雪等が懸念される時期となる。2月の予約数は前年同期を下回っており不安はあるものの、足元の状況からは、あまり大きくは変わらないと見込んでいる。
	その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕（広告担当）	・消費税再増税までは緩やかに回復が続き、その後は悪くなる。
	美容室（経営者）	・客は必要な時にだけ来店する傾向がある。
	設計事務所（経営者）	・変化の兆しを感じられず、低空飛行で安定したままである。
	住宅販売会社（従業員）	・様々な仕事を受注できる元請企業は、何とか持ちこたえることができるが、特定分野で受注する設備工事業や電気工事業等では、仕事の確保が困難な状況となっている。
	住宅販売会社（従業員）	・販売量はこの先も横ばいが続く。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・企業から良い話は聞かれず、マイナスの話ばかりである。地方都市の小売業は、大変厳しい状況にある。
	商店街（代表者）	・年末に向けて売上が少し伸びた分、年明けからは減少する。
	百貨店（企画担当）	・12月は暖冬という要因もあったが、季節商材だけでなく一般的に商品の動きが非常に鈍かった。この状況は気温の影響だけでないと思われ、1月も状況が変わらなければ、先行きは景気が悪化していく可能性が高い。

	スーパー（総務担当）	・おせち料理の予約販売数が、前年と比べて極めて悪い ため、先行きはやや悪くすると見込まれる。	
	スーパー（販売担当）	・年が明けると購買意欲が低下する。	
	スーパー（営業企画）	・消費者の大半では実質所得が増えない状況で、プチゼいたく のような消費は、今後しばらく控える傾向になると思われ る。	
	コンビニ（店長）	・消費税再増税で軽減税率の導入が決まり、経理業務が大変 になる。企業ではシステムの改修や新たな仕組みづくりに経 費がかかり、身の回りの景気にまで影響すると思われる。	
	家電量販店（店員）	・前年は悪いなかでも販売量は前々年より良かった。しか し、足元では来客数・販売量共に前年割れを起こしており、 年が明けても状況が一変するとは思えない。	
	その他専門店〔書籍〕 （店員）	・先々には新入学関連の売上が期待できるが、例年、年明け からしばらくは数字が落ち込む時期となり、あまり期待はで きない。	
	その他専門店〔貴金 属〕（営業担当）	・消費税再増税が近づくにつれて、買い控えや財布のひもが 固くなると見込まれる。	
	一般レストラン（経営 者）	・客足が良くなる気配はない。先行きは更に消費税再増税が 重くのしかかってくる。	
	スナック（経営者）	・年金生活の客が多く、財布のひもは固くなっており、あま り期待はできない。	
	その他飲食〔仕出し〕 （経営者）	・年明けからは一気に上昇気流に乗りたいところだが、良く なる要素が見当たらない。	
	都市型ホテル（経営 者）	・製造業の設備投資は、今一つであると感じる。	
	旅行代理店（経営者）	・景気回復の原動力となる要因が見当たらない。他の経営者 からも同様の声を聞く。	
	旅行代理店（従業員）	・これから卒業旅行シーズンとなる。例年イタリア方面の人 気が高いが、今の状況からすると来年はかなり厳しくなる。 旅行業ではこれから厳しい状況が続くと見込まれる。	
	テーマパーク（職員）	・ウィンタースポーツは、年末年始の時期に足が遠ざかる と、その後のばん回が困難となる。	
	テーマパーク（職員）	・世界情勢が悪くなっているため、今後はインバウンドも 減っていく可能性がある。	
	観光名所（案内係）	・天候不順で冬らしくない。暖冬は景気に悪影響を及ぼす。	
	理美容室（経営者）	・農業を営む客との話では、農産物の価格は上昇せず所得も あまり増えないので、景気は徐々に悪く感じる。	
	美顔美容室（経営者）	・1～3月は寒さが影響し、月2回の来店を1回にする等、 来客数は減少する。	
	美容室（経営者）	・地域では若い女性を中心に人口が減少している。美容室と してはかなりのマイナスである。	
	その他サービス〔介護 サービス〕（職員）	・放課後デイサービス事業は単独施設での運営は難しい。生 活支援等の他事業も広げていく必要があり、施設経営は難し くなってきている。	
	その他サービス〔介護 サービス〕（職員）	・寒さが厳しくなると、体調を崩す客が増加する。この先2 か月はレンタル機具の解約増加にも留意が必要となる。	
	設計事務所（職員）	・消費税再増税の話題は耳にするが、景気に関する良い話 は、あまり聞かない。	
	その他住宅〔住宅管 理〕（経営者）	・客には、契約交渉でもかなり慎重な姿勢がみられ、単価上 昇が見込めるのはまだ先である。報道されているように景気 が回復しているとは思えない。	
	悪くなる	一般小売店〔酒類〕 （経営者）	・消費者は更にシビアになる。日常と非日常に分けて金の使 い方を考え、日常では財布のひもが一層固くなっていく。
		衣料品専門店（経営 者）	・良い材料が見当たらない。
		観光型ホテル（経営 者）	・景気の悪くなる傾向が鮮明になってきた。宿泊部門、昼 食・夕食部門の1～3月の予約数をみると、前年同期比で75 ～80%と、県内外からの客足と地元経済の両面から悪くなっ ている状況がうかがえる。
		パチンコ店（経営者）	・業界全体が低単価、薄利多売の経営方針であり、更に監督 官庁による規制見直し等の影響が懸念される。
		美容室（経営者）	・2～3か月後は、パーマをかける客は減って、売上も減少 する。
		理容室（経営者）	・客足は安い店に流れ、まだまだ悪くなる。
		住宅販売会社（経営 者）	・一部の企業の景気が良いだけで、世の中全般には悪く、住 宅の購入にまで金が回らない。
企業 動向 関連	良くなる	輸送用機械器具製造業 （品質管理担当）	・客先の設備投資による需要増加が、この先半年程度は続く 見込みである。
	やや良くなる	食料品製造業（経営企 画担当）	・伊勢志摩サミット開催による経済効果に大いに期待する。

(東海)

	化学工業（営業）	・ナフサ価格が更に下がり、収益性が改善する見込みである。
	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・新型ハイブリッド車の部品を受注しており、その部品が量産開始となるため、売上が増加する見通しである。
	通信会社（法人営業担当）	・外国人観光客の消費拡大や原油安等の要因に加え、税収の伸び、赤字国債の予定額からの減額、幅広い品目での軽減税率の適用等、様々な要因により消費者のマインドが少しずつ回復すると見込まれる。
	企業広告制作業（経営者）	・格差の広がりで、景気が回復しても全ての人の生活が良くなるわけではない。消費税増税の影響は、まだ少し先の問題である。
	会計事務所（社会保険労務士）	・顧問先でも冬の賞与を増額するところが幾つかあり、新年を迎え、少しは消費が拡大するのではないかと期待している。
変わらない	出版・印刷・同関連産業（代表）	・景気が上向いているといっても、末端までは届いていない。ほとんどの客が個人消費の動向に影響を受けるが、消費税増税の話題が出る度に財布のひもが固くなり、先行きは厳しくなるのではと危惧する声も出ている。
	化学工業（総務秘書）	・景気の変動に影響を及ぼすような材料が見受けられない。
	窯業・土石製品製造業（社員）	・先行きは不透明で、客に聞いても明確な答えは得られない。若干景気が良くなりそうな気配は感じるが、大きく変わることはなさそうである。
	金属製品製造業（経営者）	・引き合い件数は増加傾向にあり、この先2か月程度は、引き続き現状の水準で推移すると見込まれる。
	一般機械器具製造業（経理担当）	・受注量は安定的に推移している。
	電気機械器具製造業（企画担当）	・米国の利上げの影響が不透明で、先が読めない。円安や原油安は、製造業にとってはプラスに働くと考えているが、単純な話ではなさそうである。
	電気機械器具製造業（営業担当）	・受注価格の変化は見込まれない。
	輸送業（経営者）	・輸入貨物の引き合いが増えており、しばらくはこの調子が続くと思われる。
	輸送業（従業員）	・石油製品の価格安定が、物流業界だけでなく物価全体の安定にも寄与している。マイカーによる買物や旅行等、人の動きも活発化し、景気回復につながっていく。ただし、景気好転で運転手不足は更に厳しくなると見込まれ、業界としては懸念材料である。
	輸送業（エリア担当）	・通販市場は拡大して仕事は増えるが、対応できるだけの人手が集まらない。現在の受注単価では厳しい。
	輸送業（エリア担当）	・米国の利上げによる影響もなく、経済的な変化はないものと見込まれる。
	輸送業（エリア担当）	・軽油価格が前年比で約23円下がっており、非常に助かっているが、貨物の動きは今一つ緩慢である。
	輸送業（エリア担当）	・暖冬で灯油やスノータイヤ等の季節商材が売れないという話を耳にする。このまま暖かい日が続くと、関連業界では見込んだほどの業績が達成できず、今一つの景況感が続く。
	金融業（従業員）	・企業は二極化し、自動車産業でも大手企業は利益を確保しているが、中小企業では、まだ先の見通しが立たない状況が続いている。
	金融業（法人営業担当）	・自動車部品メーカーでは当面の受注を確保しているが、小売業等の非製造業では、消費マインドの冷え込みから、先行きに対して慎重な見方が強い。
	金融業（企画担当）	・賃上げを実施する企業が立て続ければ話は別であるが、先の方向性がみえず、しばらく現状のまま景気は変わらないと思われる。
	不動産業（経営者）	・大きな変動を起こすような要素はなく、受注量は現状維持が見込まれる。
	不動産業（用地仕入）	・景気を左右するような要因が見当たらない。
	広告代理店（制作担当）	・凍結状態の新規企画や提案が多く、先行きは、良くも悪くもならず現状維持が続くと思われる。
公認会計士	・円安による原材料費の上昇、電力料金の値上げや人手不足等、中小企業ではコスト構造の改善が期待できない。中国経済の減速による生産量の低下が、操業率にも影響を与えている。	
会計事務所（職員）	・消費税増税はまだ先であるが、軽減税率導入で対応への経費負担が増えそうである。どの企業も対応には不安を感じている。	
その他サービス業[ソフト開発]（社員）	・1～3月にかけて納品時期が重なり、技術者の枯渇は明白なので、新規案件を受注できない。	

	やや悪くなる	食料品製造業（営業担当）	・周囲で景気の良い話はなく、飲料・飲食業界においても消費者の節約志向で売上は落ち込み、今後の回復の兆しもみえない。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	・2～3か月先に関する良い情報もなく、景気は良くならない。
		化学工業（人事担当）	・景気が良くなる理由が見当たらない。海外にはテロ、中国経済の減速や米国利上げの影響等、不安要素が多く、何かのきっかけで国内景気が落ち込むことを警戒する人が多いと感じる。
		鉄鋼業（経営者）	・例年であれば既に年明けの仕事の材料が発注されている時期であるが、まだの状況である。自動車の生産台数や設備等の案件に関する情報も非常に少ない。
		金属製品製造業（従業員）	・大型の開発プロジェクトが一段落し、谷間になるという見方が多い。
		電気機械器具製造業（経営者）	・引き合い案件が少なく、今後2～3か月で販売量が上向くようには感じられない。鉄鋼関係は供給余力があるためか、スクラップ価格も下落し市況の厳しさがうかがえる。
		建設業（経営者）	・地価の上昇に加えて建築費が高騰し、住宅の販売価格が非常に高額となっている。年収の少ない人の持家比率は、一層の低下が懸念される。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	・新聞購読数も折込広告の売上高も、減少傾向にある。
	行政書士	・例年と同様に、荷動きがやや減少する見込みである。	
	悪くなる		
雇用 関連 (東海)	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・先行きもターミナル駅周辺の新ビル開業に伴うオフィス向け市場の活況と、改正労働者派遣法に伴う依頼件数の増加が見込まれる。
		人材派遣会社（営業担当）	・来年度に向けて、採用枠の拡大を検討する企業が増えてきていると感じる。
		人材派遣会社（支店長）	・12月の契約終了数は前年同月比で30%減と、年間を通じて減少が続いており、派遣労働者の稼働数の増加が見込まれる。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	・自動車メーカーや生産車種によって違いはあるが、年度末に向けては、採用者数が右肩上がりで見込む。
		職業安定所（職員）	・正社員求人の増加や建設業、医療・福祉関係の人手不足が続いており、求人条件の改善等、今月よりも良くなるものと思われる。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・1月中旬以降は転職活動が最も活発となる時期のため、採用数も増加が見込まれる。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・来年度の政府予算にも中小企業支援策が多く組み込まれており、若干ではあるものの、先行投資を実施する企業も発生するものと想定している。
		その他雇用〔広告代理店〕（求人広告担当）	・報道等からは、景気が悪くなることはなさそうだが、急激に良くなることもなさそうである。
		変わらない	人材派遣会社（経営企画）
		人材派遣会社（社員）	・有能な人材に対する企業の中途採用活動は活発ではあるが、それに対応する人材の不足が、採用決定数の伸び悩みに影響している。
		人材派遣会社（営業担当）	・大きな変動要因は思い当たらない。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・忘年会が年々少なくなり、新年会も同様である。カレンダーを配る企業も激減している。そのような様子から、数か月先に景気が良くなるとは到底思えない。無駄とも思えるようなことに金を使い始めてこそ、景気回復といえる。
		職業安定所（所長）	・緩やかな景気回復が続いており、今後も求職者数の減少が続く。
		職業安定所（職員）	・建設業の求人だけは堅調な推移であるが、他の産業では、売上が増加し収益が改善しない限り、求人が増える状況ではない。
		職業安定所（職員）	・主に大手企業では業績好調であるが、中小企業に勤める人が多い当地では、家計も含めて引き続き厳しい状態である。中国経済減速の影響が大きいとの声も出ている。求人数は増加傾向にはあるが、販売業を中心に、相変わらずパート主体の募集が多い。
		職業安定所（職員）	・人手不足ではあるが、中小企業では賃金・処遇の改善が進んでいないため、消費への好循環が期待できない。

	職業安定所（職員）	・一部の産業では、求人募集時の賃金が明らかに上昇しているが、人手不足が常態化している産業では、上昇、下降の両ケースがみられる。求人数に占める割合は、常態化している産業が大きいことから、現状の動きが今後も続いていくと思われる。
	職業安定所（職員）	・求人数は前年同期より少し増加しているが、求職者数の減少幅は、前年同期と比べて小さくなっている。
	学校〔専門学校〕（就職担当）	・企業の求人募集もほぼ締め切られ、前年のような追加募集や相談もなく、採用活動は一段落という印象である。
やや悪くなる	人材派遣会社（社員）	・好調な今月と比べると若干の落ち込みが見込まれるが、歓送迎会シーズンの利用拡大に期待したい。
	民間職業紹介機関（支社長）	・大手企業の新規求人は、しばらく動きがない模様である。新卒者を含む来年度の採用計画は2月ごろに固まるので、その動向待ちである。
悪くなる	-	-